

編集後記

- 2020年のオリンピック・パラリンピック開催地が、東京に決まりました。早朝、早起きして中継をご覧になった方もいたかと思います。

今回、東京での開催が決まったこの大会は、夏季のオリンピックとして日本で2回目ということですが、1回目の1964年（昭和39年）を遡ること24年前の1940年（昭和15年）に東京での開催が予定されていたことをご存じでしたか。この時の開催は、日中戦争の勃発などの影響で日本は辞退することとなりましたが、その後、改めてアジアで最初となる前回大会を開催し、大成功を取ることができました。オリンピック招致に奔走した日本の関係者にとっては悲願の開催となったと同時に、戦後復興を世界にアピールする場としても意味があったようです。

翻って、今回のオリンピック・パラリンピック招致を取り巻く日本の状況をみると、前回大会の時と似通った雰囲気があったのではないかと感じました。そのひとつは、前回大会と同じように開催に至る数年前に開催のチャンスがあったものの、かなわなかったということです。それぞれ、辞退と招致失敗という違いはありますが、一度は開催できるという期待を持ちながらあきらめざるを得なかったという状況から、一転して開催ということになったときの高揚感はおそらく共通するものがあったのではないかと想像できます。また、現在日本は、東日本大震災からの復興の途上にあります。戦争と震災という違いはあるものの、それぞれに日本が負ったダメージからの復興を世界に向けて表すことができる場としての開催ということについても共通するものがあるのではないのでしょうか。

今年、「スポーツ祭東京2013」が各市区町村で盛大に開催されました。オリンピック・パラリンピックと比較すれば規模は小さいものですが、各地域で開催された競技は、これに負けない位地元を盛り上げるものでした。国体の何倍もの規模で開催される2020年東京オリンピック・パラリンピックが、「スポーツ祭東京2013」の盛り上がりを受け、多摩・島しょ地域を含めた東京全体の活性化につながることを期待します。

- 10月16日未明、伊豆大島で台風26号による大規模な土砂崩れにより、甚大な被害が発生しました。私たちの身に災害はいつ降りかかるかわからない中で、防災対策の重要性を再確認し、今後の取り組みへの決意を新たにしました。今回の災害で犠牲になられた方たちに対し、お悔やみを申し上げるとともに被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

- 創刊号の「自治調査会ニュース・レター」を読まれた感想は、いかがだったでしょうか。この情報提供誌は、年齢や職層さらにこれまでの職場経験も異なっている市町村職員の方の日頃の業務に役立つ様々な情報を提供することを目的として発行するものです。今後も、紙面の充実を図っていきたいと考えていますので、ご愛読いただけるようお願いします。

(Y・K)

発行 公益財団法人 東京市町村自治調査会
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館 4階
TEL：042-382-0068
URL：http://www.tama-100.or.jp/
責任者 石井 恒利